

使用者信頼回復の試金石＝3年連続の賃上げ改定を実現しよう!!

—熊本大学教職員組合 2016 年度定期大会報告—

9月29日18時30分より黒髪北地区のくすの木会館レセプションルームにて2016年度熊本大学教職員組合定期大会を開催しました。大会では、議長団の選出、館石委員長の挨拶に続き2015年度活動・決算および会計監査報告、2016年度運動方針・予算が提案され、すべての議案が満場一致で承認・採択されました。

第1号議案：2015年度活動報告

組合は、新原田学長体制となった熊大使用者との労使関係の回復と継続課題の進展を目標に交渉・協議を行ないました。学長懇談で学長が述べた、「学長のリーダーシップは、説明責任を果たすこと。できないことはできない。構成員に粘り強く説明し、理解してもらわないといけない。」という言葉が示すように、使用者は、前学長体制とは打って変わり、団体交渉等の機会を通して組合の主張に歩み寄り、共に問題を解決しようとする姿勢をみせました。駐車場有料化問題、教員問題などの継続課題についても、組合の要求に十分な理解を示し、持ち帰り検討することを約束していました。しかし、「熊本地震」の発生により、大学が本来の機能を取り戻すまで、使用者との交渉は、一時中断せざるを得ませんでした。その結果、2015年度の取り組みは、人勤の引き上げ内容（基本給0.36%・勤勉手当0.1月）に対応した賃上げを完全実施させるなど、一定の成果をあげたものの、次年度執行部に委ねざるを得ない多くの課題を残すことになりました。



第2号・3号議案：2016年度運動方針・予算

2016年度は、昨年度からの継続課題に取り組むことを活動目標の大前提にしています。給与問題、有期雇用職員問題、駐車場有料化問題、教員問題など、これまでに何度も使用者と協議を重ね、粘り強く取り組んできた課題がこれにあたります。

2016年人事院は、3年連続で給与等の引き上げをおこなう一方、扶養手当の改悪を勧告しました。熊大教職員の給与が依然として低い水準にあることは、使用者も認める事実です。教育研究・医療・管理運営に関わる全ての予算が厳しく制限されるなか、国立大学法人の本来の役割を維持・継承し、さらに法人第3期の諸計画の実現に向けて献身的な努力を重ねている教職員の労に報いるためにも給与引き上げは

行なわれて当然です。組合は、今年度の活動の第一の目標に、2016年人事院勧告に対応した給与引き上げの完全実施を掲げることを提案し、大会の承認を得ました。

黒髪・大江地区の駐車場有料化は、「熊本地震」の影響により駐車スペースを確保できないことから3年程の導入延期が決定しています。しかし組合は、有期雇用職員の駐車料金の減額は熊大全体の問題として位置づけ、先行して有料化を導入している本荘・附属病院地区の駐車料金の減額を求めて交渉を継続し、組合の長年の要求である有期雇用職員の待遇改善を前進させることとしました。

また、組合が加盟している全国大学高専教職員組合（全大教）など他団体からの義援金寄付の取り扱いについては、教職員の待遇・労働条件の改善のための貴重な資源として戦略的に活用することを提案し了承されました。

運動方針の締めくくりとして、健全な大学運営のありかたを求め続けることを提案し、了承を得ました。これまで組合は、2014年定期大会において「改正学校教育法」を濫用した大学運営の改悪に反する特別決議」を採択するなど、大学使用者による恣意的な大学運営に対する反対の意思を学内外に示してきました。現学長は、昨年度の学長懇談において、「学長の強権を発動することはリーダーシップではない」と、学長によるトップダウンの濫用を自ら厳に戒める発言をしています。しかし、「改正学校教育法」により法人化後も教授会審議が尊重されてきた大学運営は、将来的な運営予算の枯渇への懸念を背景に、学長の権限が強化される傾向がひととき顕著になり、教員人事を学長が決定するシステムが確立しつつあります。組合は、熊大構成員の意思と専門性が適切に反映される大学運用を行なうよう学内外の動向を注視し、正確な情報の収集や分析に基づいて、使用者との交渉を積み重ねることで、教職員のより良い労働条件を求めていきます。

また、2016年度の活動予算は、前年度の予算と決算を踏まえ、今年度の運動方針に基づいた編成方針を提案し、了承されました。

大会議案は、無事に代議員みなさまの承認を得ることができました。執行部は、組合員のみなさまからの後押しをいただき、組合要求の実現のために取り組む所存です。今後ともご協力をお願いいたします。

| | | |
|------------|-----------------------|--|
| 赤煉瓦 | 熊本大学教職員組合 | |
| | No. 4 2016. 10. 12 | 内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/ |